

令和3年度 経常事務事業戦略シート

担当課・係等		下水道課
事務事業名		下水道事業会計繰出金
事務事業の概要	事業事業の目標・目的 (誰・何をどのような状態にするのか)	主な活動内容 (目標を達成するために何を行うか)
	地方公営企業において、その性質上企業の経営に伴う収入をもって充てることが適当でない経費は一般会計等が負担するものとされている。汚水は使用料等で、雨水は一般会計の負担で処理することが基本となっており、雨水処理に係る経費に充ててことを目的としている。	下水道事業は、雨水事業と汚水事業を実施しており、一般会計が負担するとされる雨水事業の経費に充当している。

投入される行政コスト	カネ (単位:千円)				ヒト	
	予算額	決算額	次年度 予算額	財源内訳		職員数 (単位:人)
				補助金等	一般財源	
	370,160	370,160	388,461		388,461	15.00
						人件費 (単位:千円)
						111,198

課題抽出	活動内容と成果 (具体的に何をしたか、どのような実績があったか)	分析・評価 (活動してどのような課題があったか)
	下水道事業会計繰出金のうち、下水道事業会計負担金(289,442千円)は下水道事業会計の収益的収入で受け入れた。また、下水道事業会計出資金(80,718千円)は下水道事業会計の資本的収入で受け入れた。	国から示される地方公営企業繰出金の繰出しの基準に基づき、下水道事業会計で必要とされる金額を算出しているが、一般会計における財源は限られており、下水道事業会計繰出金についても、その限られた財源の中から予算措置されている状況である。

今後の方向性	改善・改革の手法 (どのような手法で課題を解決するか) ※プルダウンで選択	課題を解決する具体的な取組 (具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)
	⑥その他	限られた財源の中でも、雨水処理費用については一般会計からの負担で処理するものであるため、今後も財政当局と協議を行っていく。

企画政策課評価結果	
A 継続…より効率的・効果的な事業の実施を目指しながら、事業を継続。	

企画政策課意見	
引き続き、事業費について精査するとともに、財政当局との綿密な協議を図りながら、適正な事業実施に努めていただきたい。	

令和3年度 経常事務事業戦略シート

担当課・係等		学校教育課・保健給食係
事務事業名		保健管理運営費
事務事業の概要	事業事業の目標・目的 (誰・何をどのような状態にするのか)	主な活動内容 (目標を達成するために何を行うか)
	必要な各種健診・検査を実施することで、生徒がのびのびとした中学校生活を送れるようにすることを目的とする。	生徒及び教職員の健康維持管理のため、各種健診・検査を実施する。 日本スポーツ振興センターの共済保険に加入し、学校管理下の生徒の事故に備える。

投入される行政コスト	カネ (単位:千円)					ヒト	
	予算額	決算額	次年度 予算額	財源内訳		職員数 (単位:人)	人件費 (単位:千円)
				補助金等	一般財源		
	13,496	12,824	13,218	854	12,364	0.45	3,403

課題抽出	活動内容と成果 (具体的に何をしたか、どのような実績があったか)	分析・評価 (活動してどのような課題があったか)
	脊柱側弯症検査 876件 学校職員胸部X線検査 123件 尿検査 職員94件 生徒1,998件 心電図検査 625件 学校職員定期健康診断 34件 小児生活習慣病予防検診 635件 貧血検査 853件 学校職員胃部検査 20件 スポーツ振興センター加入者数 2,011人	適切な検診・検査の実施、また学校管理下における事故に備えた保険に加入することにより、生徒がのびのびと学校生活をおくることができた。

今後の方向性	改善・改革の手法 (どのような手法で課題を解決するか) ※プルダウンで選択	課題を解決する具体的な取組 (具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)
	⑤更なる事業の推進	今後も適切に健診・検査を実施していく。

企画政策課評価結果	
A 継続…より効率的・効果的な事業の実施を目指しながら、事業を継続。	

企画政策課意見	
引き続き、事業費の精査を図るとともに、適切な事業実施に努めていただきたい。	

令和3年度 経常事務事業戦略シート

担当課・係等		総務部管財課	
事務事業名		財産管理運営費	
事務事業の概要	事業事業の目標・目的 (誰・何をどのような状態にするのか)		主な活動内容 (目標を達成するために何を行うか)
	市が所有する土地、建物、物品の適正な管理を行い、有効な財産活用を図ることを目的とする。		市が所有する財産の管理、有効活用、売却を行う。

投入される行政コスト	カネ (単位:千円)				ヒト	
	予算額	決算額	次年度 予算額	財源内訳		職員数 (単位:人)
				補助金等	一般財源	
	16,386	13,094	16,505	2,086	14,419	4.70
						人件費 (単位:千円)
						34,366

課題抽出	活動内容と成果 (具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		分析・評価 (活動してどのような課題があったか)	
	- 各種共通事務消耗品の購入 - 封筒長3 155,000枚、角2 21,000枚の印刷 - 公共施設損害保険の加入 市有物件建物総合共済(庁舎他154件) 公営住宅火災共済の加入(市営住宅190棟731戸) 市民総合賠償保障保険(住民数×保険料率) - 市有地草刈業務委託 年6回 - 市有地不法占拠建物に係る訴訟委託 - 旧ひめはるの里用地の土地の借上げ		施設の統廃合が進む中、用途廃止された行政財産が普通財産として引き継がれるケースが増加しているが、財産の引継ぎ後、種々の問題が判明したため、境界の確定や登記の修正を行った。また当該地について草刈りが必要となったためその経費を予算補正や配当替え等により対応した。	

P

今後の方向性	改善・改革の手法 (どのような手法で課題を解決するか) ※プルダウンで選択		課題を解決する具体的な取組 (具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	⑤更なる事業の推進		財産の管理や所管換のときに留意すべき注意事項等を明らかにするため、財務規則の改正に取り組んだ。 財務規則改正成立後、これを適正に運用し、スムーズな売却、貸付を推進する。	

企画政策課評価結果	
A 継続…より効率的・効果的な事業の実施を目指しながら、事業を継続。	

企画政策課意見	
引き続き、事業費の精査に努めるとともに、関係各課との連携を図りながら事業を実施していただきたい。	

令和3年度 経常事務事業戦略シート

担当課・係等		議会事務局
事務事業名		議会事務運営費
事務事業の概要	事業事業の目標・目的 (誰・何をどのような状態にするのか)	主な活動内容 (目標を達成するために何を行うか)
	・二元代表制の一翼を担う市議会として、開かれた議会を推進するため、各種議員活動を通じて本市の市民福祉の向上及びまちづくりに寄与することを目的として実施している。	・3月、6月、9月、12月に定例会を、また必要に応じて臨時会を開催し提出された議案を審議し可否を決定している。 ・市民に開かれた議会の実現に向けて、積極的な情報公開を実現するため、本会議のインターネット中継(ライブ・録画)を行っている。 ・茂原市議会基本条例に基づき議会活性化の一環として議会報告会を年1回開催している。

投入される行政コスト	力ネ (単位:千円)				ヒト	
	予算額	決算額	次年度 予算額	財源内訳		職員数 (単位:人)
				補助金等	一般財源	
	20,517	13,544	20,086		20,086	4.00
						人件費 (単位:千円)
						30,252

課題抽出	活動内容と成果 (具体的に何をしたか、どのような実績があったか)	分析・評価 (活動してどのような課題があったか)
	・定例会・臨時会(R4.2時点) 市長提出議案64件、議員提出議案5件、請願・陳情3件 ・インターネット中継(R4.2.28時点) 【ライブ中継アクセス数】 5月臨時会122件、6月定例会465件、9月定例会980件、12月定例会721件 【録画配信アクセス数】(R3.4.1～R4.2.28) 3,491件 ・議会報告会(録画配信) R4.2.15配信開始	・コロナ禍において、市民に「開かれた議会」を継続するため、議場・傍聴席・各委員会室・全員協議会室に飛沫防止パネルを設置し、通常通り定例会を実施した。また、対面で実施していた議会報告会をオンラインで実施するなど事業を止めることなく推進した。

今後の方向性	改善・改革の手法 (どのような手法で課題を解決するか) ※プルダウンで選択	課題を解決する具体的な取組 (具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)
	⑤更なる事業の推進	・より良い議会運営とするため、他の自治体の動向を注視し、導入可能な事例については、積極的に導入していきたい。 ・インターネット中継や議会報告会については、議会だより等を活用し積極的な周知に努める。

企画政策課評価結果
A 継続…より効率的・効果的な事業の実施を目指しながら、事業を継続。

企画政策課意見
引き続き、より良い議会運営及び市民に「開かれた議会」の推進に寄与するよう努めていきたい。

令和3年度 経常事務事業戦略シート

担当課・係等		教育総務課・総務係	
事務事業名		奨学資金貸付費	
事務事業の概要	事業事業の目標・目的 (誰・何をどのような状態にするのか)		主な活動内容 (目標を達成するために何を行うか)
	・大学等に入学が決定し、または在学する者で経済的理由により修学の困難なものに対し、予算の範囲内において修学上必要な学資を貸し付けることにより、これらの者の修学を容易にし、もって有為な人材を育成することを目的とする。		・経済的理由により修学の困難なものに対し、修学上必要な学資の貸付を行っている。 ・奨学資金管理システムを稼働し、債権管理の徹底及び収納管理事務の効率化を図っている。また、滞納者に対し文書での催告や、県内に居住する滞納者、連帯保証人へ直接訪問し催告を行っている。

投入される行政コスト	カネ (単位:千円)				ヒト	
	予算額	決算額	次年度 予算額	財源内訳		職員数 (単位:人)
				補助金等	一般財源	
	14,496	12,672	13,895	13,895		0.60
						人件費 (単位:千円) 4,538

課題抽出	活動内容と成果 (具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		分析・評価 (活動してどのような課題があったか)	
	・奨学資金 新規貸付 5名(大学4名、専修学校1名) 継続貸付 13名(大学13名) ・滞納者 11名(令和4年3月31日現在) 督促(通年) 催告(文書年2回、電話通年) 返済相談(通年)		・奨学金は国や県、大学独自の貸付制度が充実し、本市の制度の利用者は減少している。 ・滞納者の現況把握が、私債権のため困難である。	

今後の方向性	改善・改革の手法 (どのような手法で課題を解決するか) ※プルダウンで選択		課題を解決する具体的な取組 (具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	①業務の整理・統合・集約化		・市民ニーズを的確に把握しながら在り方を検討する。 ・今後も引き続き、滞納者、連帯保証人へ直接訪問するなど現況把握に努める。	

企画政策課評価結果	
B 一部改善…事業の方向性は変えずに、事務のやり方等の改善を検討。	

企画政策課意見	
引き続き、市民ニーズを把握するとともに、より効果的な手法を調査・検討いただきたい。	

令和3年度 経常事務事業戦略シート

担当課・係等		高齢者支援課・介護給付係
事務事業名		介護保険事業特別会計繰出金
事務事業の概要	事業事業の目標・目的 (誰・何をどのような状態にするのか)	主な活動内容 (目標を達成するために何を行うか)
	特別会計介護保険事業の健全な財政運営と安定化を図る。	特別会計介護保険事業に係る費用の一部を一般会計で負担する。

投入される行政コスト	カネ (単位:千円)				ヒト			
	予算額	決算額	次年度 予算額	財源内訳		職員数 (単位:人)	人件費 (単位:千円)	
				補助金等	一般財源			
	1,233,525	1,233,521	1,281,082	70,749	1,210,333	R3年度 1.1.1 22人 3.1.1 3人 3.2.1 6人	R3年度 1.1.1 145,211 3.1.1 27,171 3.2.1 41,115	

課題抽出	活動内容と成果 (具体的に何をしたか、どのような実績があったか)	分析・評価 (活動してどのような課題があったか)
	介護保険法に基づき、市が負担することとされる経費を特別会計へ繰り出す。 ・市負担割合 介護給付費繰入金12.5%、地域支援事業費繰入金(総合)12.5%、地域支援事業費繰入金(その他)19.25%、介護保険料軽減費繰入金、運営費繰入金100%	＜分析・評価＞ 繰出し基準に基づき、適正に繰出金を支出した。 ＜課題＞ 団塊の世代が75才以上となる2025年に向けて、今後急激な要介護認定率等の増加が見込まれることから、保険給付費等が増加し、それに伴い繰出金も増加していくと予想される。

今後の方向性	改善・改革の手法 (どのような手法で課題を解決するか) ※プルダウンで選択	課題を解決する具体的な取組 (具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)
	⑤更なる事業の推進	①保険給付費等の抑制 ・介護予防事業の推進 (もばら百歳体操、フレイル予防プロジェクト等の実施) ・地域包括ケアシステムの深化・推進 ②県市長会を通じて、国の負担割合の引き上げを要望していく。

企画政策課評価結果	
A 継続…より効率的・効果的な事業の実施を目指しながら、事業を継続。	

企画政策課意見	
引き続き、基準に基づく適正な繰出金の支出に努めていただきたい。	

令和3年度 経常事務事業戦略シート

担当課・係等		国保年金課・高齢者医療係
事務事業名		後期高齢者医療事業特別会計繰出金
事務事業の概要	事業事業の目標・目的 (誰・何をどのような状態にするのか)	主な活動内容 (目標を達成するために何を行うか)
	後期高齢者医療制度の円滑な運営を目的とする。	千葉県後期高齢者医療広域連合運営のための共通経費負担金をはじめ、保険料の軽減負担分を補う保険基盤安定繰入金、保険証の発送や保険料の徴収事務を行う人件費等についての経費を繰出し事務を実施する。

投入される行政コスト	カネ (単位:千円)					ヒト	
	予算額	決算額	次年度 予算額	財源内訳		職員数 (単位:人)	人件費 (単位:千円)
				補助金等	一般財源		
	313,664	297,070	322,939	180,765	142,174	4.00	30,252

課題抽出	活動内容と成果 (具体的に何をしたか、どのような実績があったか)	分析・評価 (活動してどのような課題があったか)
	・事務費繰入金(人件費、医療事務費、徴収事務費)として4,627万1千円を繰出した。 ・共通経費負担金(広域連合事務費負担金)として3,289万3千円を繰出した。 ・保険基盤安定繰入金(保険料軽減分)として2億1,790万6千円を繰出した。	・共通経費負担金、保険基盤安定繰出金は、広域連合から金額を示されるため、金額の過不足には留意し、正確かつ期限内に処理を行う。 ・今後は、被保険者数の増加により繰出金の増加が懸念される。

今後の方向性	改善・改革の手法 (どのような手法で課題を解決するか) ※プルダウンで選択	課題を解決する具体的な取組 (具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)
	⑥その他	・予算額と支出額に大きな差額が生じる場合は、財政課と協議の上、減額補正を行う等、適正に処理を行う。 ・人件費抑制のためにも、事務の簡素化に努める。

企画政策課評価結果	
A 継続…より効率的・効果的な事業の実施を目指しながら、事業を継続。	

企画政策課意見	
引き続き、基準に基づく適正な繰出金の支出に努めていただきたい。	

令和3年度 経常事務事業戦略シート

担当課・係等		国保年金課・管理係	
事務事業名		国民健康保険事業特別会計繰出金	
事務事業の概要	事業事業の目標・目的 (誰・何をどのような状態にするのか)		主な活動内容 (目標を達成するために何を行うか)
	国民健康保険特別会計の財政安定化を図ることを目的とする。		基盤安定負担金の国・県負担分を一般会計で受入れ、市負担分を合わせて国保特別会計に繰出す。また、国民健康保険事業の運営に必要な人件費・事務費等を国保特別会計に繰出す。

投入される行政コスト	力ネ (単位:千円)				ヒト	
	予算額	決算額	次年度 予算額	財源内訳		職員数 (単位:人)
				補助金等	一般財源	
	650,763	653,218	644,807	363,026	281,781	14.00
						人件費 (単位:千円) 96,434

課題抽出	活動内容と成果 (具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		分析・評価 (活動してどのような課題があったか)	
	・保険基盤安定繰入金(保険税軽減分)として、3億221万4千円を繰出した。 ・保険基盤安定繰入金(保険者支援分)として、1億7,785万2千円を繰出した。 ・職員給与費等繰入金として、1億6,086万4千円を繰出した。 ・出産育児一時金繰入金として、1,228万8千円を繰出した。		・国民健康保険財政は、構造的に脆弱であることに加え、被保険者の減少や高齢化により、税収も減少傾向であるため、安定した運営をするためには必要である。	

今後の方向性	改善・改革の手法 (どのような手法で課題を解決するか) ※ブルダウンドで選択		課題を解決する具体的な取組 (具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	⑥その他		・国民健康保険事業の安定的な運営を図るためには、一般会計からの繰出金は必要であるが、繰出金が充当される事業については、歳出予算の削減に努める。	

企画政策課評価結果	
A 継続…より効率的・効果的な事業の実施を目指しながら、事業を継続。	

企画政策課意見	
引き続き、基準に基づく適正な繰出金の支出に努めていただきたい。	

令和3年度 経常事務事業戦略シート

担当課・係等		子育て支援課 支援課係	
事務事業名		児童手当支給事業	
事務事業の概要	事業事業の目標・目的 (誰・何をどのような状態にするのか)		主な活動内容 (目標を達成するために何を行うか)
	中学校卒業まで(15歳の誕生日後の最初の3月31日まで)の児童の養育者に対して、児童手当を支給することで子育て世帯の経済的負担を軽減する。		・出生届、転入届等の提出時における認定請求、額改定請求に関する処理 ・転出時等の消滅届の処理 ・年3回(6月、10月、2月)の児童手当の支給

投入される行政コスト	カネ (単位:千円)				ヒト	
	予算額	決算額	次年度 予算額	財源内訳		職員数 (単位:人)
				補助金等	一般財源	
	1,074,315	1,045,949	1,018,516	862,044	156,472	1.40
						人件費 (単位:千円)
						10,588

課題抽出	活動内容と成果 (具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		分析・評価 (活動してどのような課題があったか)	
	・転入、出生の届出時等の認定請求などの処理:年500件 ・6月の現況届の受付及び所得確認等の審査:4,900件 ・児童手当の支給(6月、10月、2月の年3回):各4,900件		・転入による認定請求書を受け、前住所で元配偶者が請求していたため、二重払いになった児童手当の返還請求の事務が生じた。 ・所得の変更により児童手当・特例給付の区分が変更となる際の返還請求の事務が生じた。	

今後の方向性	改善・改革の手法 (どのような手法で課題を解決するか) ※プルダウンで選択		課題を解決する具体的な取組 (具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	⑤更なる事業の推進		令和4年度に、制度の改正(①現況届の原則省略、②所得制限限度額に加え、所得上限限度額の設定)があることから、給付要件の確認を徹底し、適切な給付に努める。	

企画政策課評価結果	
A 継続…より効率的・効果的な事業の実施を目指しながら、事業を継続。	

企画政策課意見	
引き続き、正確で適正な事務処理に努めていただきたい。	

令和3年度 経常事務事業戦略シート

担当課・係等		子育て支援課 支援係
事務事業名		児童扶養手当支給事業
事務事業の概要	事業事業の目標・目的 (誰・何をどのような状態にするのか)	主な活動内容 (目標を達成するために何を行うか)
	父母の離婚等により、親と生計を同じくしていない児童を養育する家庭に対し、児童扶養手当を支給し、生活の安定と自立を助け、児童の福祉の増進を図る。	・認定請求時の支給要件の確認 ・住所変更や世帯状況の変更に伴う支給要件の確認 ・児童扶養手当の支給

投入される行政コスト	カネ (単位:千円)				ヒト	
	予算額	決算額	次年度 予算額	財源内訳		職員数 (単位:人)
				補助金等	一般財源	
	329,567	309,968	305,089	101,696	203,393	1.40
						人件費 (単位:千円) 10,588

課題抽出	活動内容と成果 (具体的に何をしたか、どのような実績があったか)	分析・評価 (活動してどのような課題があったか)
	・認定請求等に係る処理(随時):年間約100件 ・現況届の受付及び処理:800件(8月1か月間) ・児童扶養手当の支給:年6回(奇数月)	・認定請求や現況届時の生活状況の確認時でのプライバシーの配慮が必要である。 ・申請後、書類の不備で保留になっている人の却下の期限を設定する必要がある。 ・現況届では対面による聞取りが原則となっていることから新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮する必要がある。

今後の方向性	改善・改革の手法 (どのような手法で課題を解決するか) ※プルダウンで選択	課題を解決する具体的な取組 (具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)
	⑤更なる事業の推進	・状況に応じて郵送申請を行うなど、対面する機会を少なくする。 ・保留になっている案件について却下する期間を設定する。

企画政策課評価結果
A 継続…より効率的・効果的な事業の実施を目指しながら、事業を継続。

企画政策課意見
引き続き、正確で適正な事務処理に努めていただきたい。

令和3年度 経常事務事業戦略シート

担当課・係等		市民課 住民記録係
事務事業名		住民基本台帳事業
事務事業の概要	事業事業の目標・目的 (誰・何をどのような状態にするのか)	主な活動内容 (目標を達成するために何を行うか)
	住民基本台帳法に基づく住民記録の適正管理及び証明書交付事務の適正な執行を行う。また、マイナンバーカードの適正な交付に努める。さらに、証明手数料のキャッシュレス決済の導入により市民の利便性を図る。	- 令和7年度に運用が開始する住民記録システムの標準化を見据えて、住民記録システムの適正な管理を行う。 - 市役所5階に設置したマイナンバー交付所の管理を行うとともに、マイナンバーカード交付予約システムを導入する。 - 今年度新たに、キャッシュレス決済を導入する。

投入される行政コスト	カネ (単位:千円)					ヒト	
	予算額	決算額	次年度 予算額	財源内訳		職員数 (単位:人)	人件費 (単位:千円)
				補助金等	一般財源		
	88,289	69,165	41,600	22,703	18,897	16.30	85,952

課題抽出	活動内容と成果 (具体的に何をしたか、どのような実績があったか)	分析・評価 (活動してどのような課題があったか)
	- 令和7年度に開始する住民記録システムの標準化に向けて、住民記録システムの更改を実施した。 - マイナンバーカード交付所に統合端末を増設し、マイナンバーカードの交付枚数増に対応できるように交付所スペースを拡張整備した。また、マイナンバーカード交付予約システムを導入し、事務の効率化を図った。 - 新たにキャッシュレス決済を導入し、市民の利便性を図った。	- 住民記録システムの標準化については、国の統一した仕様に沿って、事務の見直しを図っていくことが今後の課題となる。 - マイナンバーカードの交付数は増加したものの、県の標準を下回っているため、コンビニ交付の周知等更なるPRに努める必要がある。

今後の方向性	改善・改革の手法 (どのような手法で課題を解決するか) ※プルダウンで選択	課題を解決する具体的な取組 (具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)
	⑤更なる事業の推進	- 住民記録システムの標準化については、国の標準仕様書により実装すべき機能、実装しない機能などが示されており、実装しないものについて現在の事務フローを見直し、標準化後の運用を検討する。 - マイナンバーカードの交付及び転入・転出手続ワンストップ化については、国の動向を注視し、市民がカードを所持し活用できるよう促進する。

企画政策課評価結果
A 継続…より効率的・効果的な事業の実施を目指しながら、事業を継続。

企画政策課意見
今後も適正な事務の執行に努め、市民の利便性向上を図っていただきたい。

令和3年度 経常事務事業戦略シート

担当課・係等		企画財政部市民税課	
事務事業名		軽自動車税賦課事務費	
事務事業の概要	事業事業の目標・目的 (誰・何をどのような状態にするのか)		主な活動内容 (目標を達成するために何を行うか)
	課税客体を的確に把握し、公平公正な課税に努め、税收確保を図ることを目的とする。		原動機付自転車、軽自動車、小型特殊自動車及び二輪の小型自動車の所有者に対し、軽自動車税を賦課する。

投入される行政コスト	カネ (単位:千円)				ヒト	
	予算額	決算額	次年度 予算額	財源内訳		職員数 (単位:人)
				補助金等	一般財源	
	9,818	9,580	10,273		10,273	0.51
						人件費 (単位:千円)
						3,819

課題抽出	活動内容と成果 (具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		分析・評価 (活動してどのような課題があったか)	
	令和3年度末 課税台数 35,493台		賦課期日までに廃車や名義人変更の手続が行われないことにより、車両を保有していない翌年度も課税対象となってしまう。ため、周知を徹底する必要がある。	

今後の方向性	改善・改革の手法 (どのような手法で課題を解決するか) ※プルダウンで選択		課題を解決する具体的な取組 (具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	⑤更なる事業の推進		引き続き、広報・市公式ウェブサイト等により周知を行うとともに、SNS等を活用するなど、より効果的な周知を実施していく。	

企画政策課評価結果	
A 継続…より効率的・効果的な事業の実施を目指しながら、事業を継続。	

企画政策課意見	
引き続き、適正な事務処理に努めるとともに、より効果的な周知に努めていただきたい。	

令和3年度 経常事務事業戦略シート

担当課・係等		社会福祉課 地域福祉係
事務事業名		一般事務費
事務事業の概要	事業事業の目標・目的 (誰・何をどのような状態にするのか)	主な活動内容 (目標を達成するために何を行うか)
	・地域福祉の推進に要する一般経費	・会議出席に係る委員報酬、報償費 ・事務に係る消耗品の購入 ・移動のための公用車に係る燃料費 ・福祉センター進入路案内の電柱巻広告設置 ・福祉センター用地の借上げ ・民生委員等の研修に係るバス借上げ ・福祉センター空調設備の借上げ ・更生保護団体に対する負担金

投入される行政コスト	カネ (単位:千円)				ヒト	
	予算額	決算額	次年度 予算額	財源内訳		職員数 (単位:人)
				補助金等	一般財源	
	16,011	15,496	14,838		14,838	1.49
						人件費 (単位:千円)
						11,269

課題抽出	活動内容と成果 (具体的に何をしたか、どのような実績があったか)	分析・評価 (活動してどのような課題があったか)
	・一般事務費を予算どおりに執行することにより、地域福祉推進の基盤が確保できた。 ・使用料及び賃借料のうち設備借上料については、豊田福祉センター、二宮福祉センター、五郷福祉センターの空調設備の更新を長期継続契約(5年間)にて費用の平準化を図っており、契約期間経過後は市に無償譲渡となる。	・東郷福祉センター敷地の全部、及び豊田福祉センター敷地の一部は賃貸借であることから毎年度賃借料が発生している。敷地が借地であることは地域に根差した安定した施設運営の観点で課題である。

今後の方向性	改善・改革の手法 (どのような手法で課題を解決するか) ※プルダウンで選択	課題を解決する具体的な取組 (具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)
	⑥その他	・引き続きコスト意識を持って予算執行にあたる。 ・福祉センターの安定した運営基盤を確保するためには賃貸借している土地の購入を検討する必要がある。

企画政策課評価結果
A 継続…より効率的・効果的な事業の実施を目指しながら、事業を継続。

企画意見
引き続き、適正な事務に努めるとともに、福祉センターの安定した運営について、今後の方向性を検討いただきたい。

令和3年度 経常事務事業戦略シート

担当課・係等		社会福祉課 保護係
事務事業名		住居確保給付事業
事務事業の概要	事業事業の目標・目的 (誰・何をどのような状態にするのか)	主な活動内容 (目標を達成するために何を行うか)
	離職、廃業又はやむを得ない休業等により離職や廃業と同程度の状況になり経済的に困窮し、住居を失った方又は喪失するおそれのある方に対し、求職活動を行うことを条件に家賃相当分の給付金を支給することで住居及び就労機会等の確保を行う。	支給申請の提出を受け、支給要件に該当するか判断した後、支給決定又は不支給決定を行う。給付金の支給を受けた者の求職活動の状況及び収入の状況を確認し、適切な求職活動を求める。

投入される行政コスト	カネ (単位:千円)					ヒト	
	予算額	決算額	次年度 予算額	財源内訳		職員数 (単位:人)	人件費 (単位:千円)
				補助金等	一般財源		
	22,720	18,464	14,256	10,692	3,564	0.20	1,513

課題抽出	活動内容と成果 (具体的に何をしたか、どのような実績があったか)	分析・評価 (活動してどのような課題があったか)
	・離職または新型コロナの影響により減収となった方の住居の喪失を防止した。 ・112名に給付金を支給した。	・求職活動を積極的に行わない方への働きかけに苦慮している。

今後の方向性	改善・改革の手法 (どのような手法で課題を解決するか) ※プルダウンで選択	課題を解決する具体的な取組 (具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)
	⑥その他	・求職活動を行わないことで、給付が受けられなくなることを強く認識させる。 ・求職活動の際に募集会社の雇用条件を把握し応募することを求めていく。

企画政策課評価結果
A 継続…より効率的・効果的な事業の実施を目指しながら、事業を継続。

企画政策課意見
引き続き、適正な事業実施に努め、生活困窮者の自立の促進を図っていただきたい。

令和3年度 経常事務事業戦略シート

担当課・係等		社会福祉課 保護係
事務事業名		生活保護運営費
事務事業の概要	事業事業の目標・目的 (誰・何をどのような状態にするのか)	主な活動内容 (目標を達成するために何を行うか)
	生活保護事務に必要な経費を支出することで円滑な生活保護事務を行えるようにする。	必要十分な経費を確保する。

投入される行政コスト	カネ (単位:千円)				ヒト	
	予算額	決算額	次年度 予算額	財源内訳		職員数 (単位:人)
				補助金等	一般財源	
	10,361	10,033	10,078	204	9,874	0.40
						人件費 (単位:千円)
						3,026

課題抽出	活動内容と成果 (具体的に何をしたか、どのような実績があったか)	分析・評価 (活動してどのような課題があったか)
	・嘱託医への報酬支払 ・事務処理に必要な消耗品費・ガソリン等の燃料代・封筒の確保 ・生活保護システムの維持費の支出 ・医療費支払いに係るレセプト点検費や手数料の支出 ・自動車の維持費の支出	円滑な事務処理が行えたものとする。

今後の方向性	改善・改革の手法 (どのような手法で課題を解決するか) ※プルダウンで選択	課題を解決する具体的な取組 (具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)
	⑤更なる事業の推進	必要十分な予算を確保する一方で、不用額が出ないように精査する。

企画政策課評価結果
A 継続…より効率的・効果的な事業の実施を目指しながら、事業を継続。

企画政策課評価理由
引き続き、必要経費の十分な精査を行うとともに、円滑な事務処理に努めていただきたい。

令和3年度 経常事務事業戦略シート

担当課・係等		障害福祉課	
事務事業名		補装具給付事業	
事務事業の概要	事業事業の目標・目的 (誰・何をどのような状態にするのか)		主な活動内容 (目標を達成するために何を行うか)
	・身体障害者(児)の失われた身体の一部、あるいは機能を補完するための用具の交付、または修理により健康の保持や生活の安定を図る。		・対象者の障害の状態に応じて補聴器、車いす、義足、下肢装具等の交付、修理を行う。

投入される行政コスト	カネ (単位:千円)				ヒト	
	予算額	決算額	次年度 予算額	財源内訳		職員数 (単位:人)
				補助金等	一般財源	
	12,738	10,832	12,914	9,685	3,229	0.25
						人件費 (単位:千円)
						1,655

課題抽出	活動内容と成果 (具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		分析・評価 (活動してどのような課題があったか)	
	・支給件数 障害者 80件(交付38件、修理42件) 障害児 20件(交付15件、修理5件)		・補装具の交付・修理により、障害者の身体機能を補完することで、健康の保持や日常生活の安定に寄与することができた。	

今後の方向性	改善・改革の手法 (どのような手法で課題を解決するか) ※プルダウンで選択		課題を解決する具体的な取組 (具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	⑤更なる事業の推進		・引き続き、制度の周知を行い、適切に制度が運用できるよう努める。	

企画政策課評価結果	
A 継続…より効率的・効果的な事業の実施を目指しながら、事業を継続。	

経常事務事業評価委員会意見	
引き続き、適正な事業実施に努めるとともに、より効果的な周知を図っていただきたい。	

令和3年度 経常事務事業戦略シート

担当課・係等		職員課・人事給与係
事務事業名		一般職人件費・特別職人件費
事務事業の概要	事業事業の目標・目的 (誰・何をどのような状態にするのか)	
	主な活動内容 (目標を達成するために何を行うか)	
	・市の事業を円滑に遂行できるよう、職員を適切に配置する。	
	・職員の採用、人事異動による人事管理。 ・働き方改革(時間外勤務の縮減)の周知。 ・会計年度任用職員の採用。 ・県人事委員会勧告等に沿った給与改定。	

投入される行政コスト	カネ (単位:千円)					ヒト	
	予算額	決算額	次年度 予算額	財源内訳		職員数 (単位:人)	人件費 (単位:千円)
				補助金等	一般財源		
	5,426,337	5,355,385	5,257,974	287,412	4,970,562		

課題抽出	活動内容と成果 (具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		分析・評価 (活動してどのような課題があったか)	
	・R3年度職員数(当初予算) 863名(正職625名、会計年度238名) ・R3年度職員数(4月実績) 856名(正職620名、会計年度236名) ・R3年度時間外勤務時間 74,859時間 1人平均148.5時間 ・所属長との人事ヒアリング実施 ・コロナ対応など急な業務変更に対し、年度途中での人事異動や会計年度任用職員の採用などを行った。		・事業規模が変わらないまま、職員数の削減や時間外勤務の縮減だけ行うのは極めて困難であり、各事業の効率化や廃止・縮小についても並行して考えなくてはならない。	

今後の方向性	改善・改革の手法 (どのような手法で課題を解決するか) ※プルダウンで選択		課題を解決する具体的な取組 (具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	⑥その他		・会計年度任用職員の雇用形態や勤務時間等について、関係課と協議し、パートタイムへの切り替えを検討する。 ・時間外勤務について、働き方改革の観点からも縮減を目指し、職員への意識付けを図る。	

企画政策課評価結果	
B 一部改善…事業の方向性は変えずに、事務のやり方等の改善を検討。	

企画政策課意見	
引き続き、適正な事務処理及び関係課との協議を重ね、人件費削減をはじめ、より効果的な人事管理に努めていただきたい。	

令和3年度 経常事務事業戦略シート

担当課・係等		中央公民館・管理事業係
事務事業名		中央公民館施設維持管理費
事務事業の概要	事業事業の目標・目的 (誰・何をどのような状態にするのか)	主な活動内容 (目標を達成するために何を行うか)
	施設の適切な維持管理に努めることで、利用者が安全に利用できるようにすることを目的とする。	- 施設の維持管理や修繕に努める。 - 施設の安全対策の促進。 - 土日祝・夜間の管理委託、清掃業務、消防点検などの各種委託契約の締結・執行を行う。

投入される行政コスト	カネ (単位:千円)				ヒト	
	予算額	決算額	次年度 予算額	財源内訳		職員数 (単位:人)
				補助金等	一般財源	
	8,812	7,272	17,850		17,850	0.60
						人件費 (単位:千円) 4,538

課題抽出	活動内容と成果 (具体的に何をしたか、どのような実績があったか)	分析・評価 (活動してどのような課題があったか)
	- 施設の各種修繕や旧市民会館照明器具安定器撤去工事を実施した。 - 業者委託により土日・祝日の昼間や夜間の管理委託及び清掃委託等を行なった。	中央公民館の維持管理に必要最低限の予算要求をしている。

今後の方向性	改善・改革の手法 (どのような手法で課題を解決するか) ※プルダウンで選択	課題を解決する具体的な取組 (具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)
	⑥その他	必要最低限の予算要求をしているため、今後も必要なものを精査して予算要求をしていく。

企画政策課評価結果
C 大幅な改善…大幅な事務改善、事業の方向性の見直しを検討。

企画政策課意見
老朽化により計画的な維持管理が必要ではあるが、施設の存続についての検討を実施していただきたい。

令和3年度 経常事務事業戦略シート

担当課・係等		都市建設部 都市計画課 交通政策係	
事務事業名		駐車場事業特別会計繰出金	
事務事業の概要	事業事業の目標・目的 (誰・何をどのような状態にするのか)		主な活動内容 (目標を達成するために何を行うか)
	・特別会計駐車場事業の健全な財政運営と安定化を図る。		・特別会計駐車場事業に係る費用の一部を一般会計で負担する。

投入される行政コスト	カネ (単位:千円)				ヒト	
	予算額	決算額	次年度 予算額	財源内訳		職員数 (単位:人)
				補助金等	一般財源	
	47,965	47,965	10,826		10,826	0.50
						人件費 (単位:千円)
						3,782

課題抽出	活動内容と成果 (具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		分析・評価 (活動してどのような課題があったか)	
	・事業実施に不足する経費を特別会計へ繰り出す。 ・公債費(償還元金)や工事請負費(駐車場トイレ改修工事)等に充当する。		・公債費は令和5年度の償還完了に向けて償還額が減っている。 ・建設から30年が経過し、施設の老朽化が目立つことから、今後は修繕等に多額の費用を要することが想定される。	

今後の方向性	改善・改革の手法 (どのような手法で課題を解決するか) ※プルダウンで選択		課題を解決する具体的な取組 (具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	⑤更なる事業の推進		・引き続き指定管理者制度の運用を継続し、民間事業者の経営ノウハウを活用した住民サービスの向上や経費の削減を図り、納付金の確保に努める。	

企画政策課評価結果	
B 一部改善…事業の方向性は変えずに、事務のやり方等の改善を検討。	

企画政策課意見	
引き続き、住民サービスの向上のため、適切な事務処理を進めるとともに、健全な財政運営を図るため、民間活力を活用等による更なる経費の抑制に努めていただきたい。	

令和3年度 経常事務事業戦略シート

担当課・係等		土木管理課・用地管理係	
事務事業名		一般事務費(土木管理課)	
事務事業の概要	事務事業の目標・目的 (誰・何をどのような状態にするのか)		主な活動内容 (目標を達成するために何を行うか)
	・市民の一般交通の利便性を向上させるため、市道認定を行う。 ・道路・水路の境界確認事務の効率化を図ることを目的とする。		・市道の新設や改良、廃止等による道路台帳及び道路台帳平面図の追加や修正 ・境界確認システムデータ移行

投入される行政コスト	カネ (単位:千円)				ヒト	
	予算額	決算額	次年度 予算額	財源内訳		職員数 (単位:人)
				補助金等	一般財源	
	18,002	17,693	16,014		16,014	0.50
						人件費 (単位:千円)
						3,782

課題抽出	活動内容と成果 (具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		分析・評価 (活動してどのような課題があったか)	
	・市道の認定19路線、廃止3路線に伴う道路台帳の補正業務 ・既存境界確認システム内のデータを地図情報共有システム(GIS)への移行業務(平成28年度～令和2年度分)		・予算の範囲内での道路台帳整備となるため、複数の路線において認定外道路となっている。 ・境界確認資料のデータベース化によって事務の効率化が図れた。	

今後の方向性	改善・改革の手法 (どのような手法で課題を解決するか) ※プルダウンで選択		課題を解決する具体的な取組 (具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	⑤更なる事業の推進		・予算確保に努める。	

企画政策課評価結果	
A 継続…より効率的・効果的な事業の実施を目指しながら、事業を継続。	

企画政策課意見	
引き続き、委託事業等において事務の効率化が図られるよう努めていただきたい。	

令和3年度 経常事務事業戦略シート

担当課・係等		土木管理課・用地管理係	
事務事業名		河川維持管理費	
事務事業の概要	事務事業の目標・目的 (誰・何をどのような状態にするのか)		主な活動内容 (目標を達成するために何を行うか)
	・鶴枝遊水公園内の管理や設備点検、準用河川の管理を目的とする。		・準用河川等管理委託 ・鶴枝遊水公園草刈

投入される行政コスト	カネ (単位:千円)				ヒト	
	予算額	決算額	次年度 予算額	財源内訳		職員数 (単位:人)
				補助金等	一般財源	
	11,758	11,283	12,575		12,575	0.80
						人件費 (単位:千円) 6,050

課題抽出	活動内容と成果 (具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		分析・評価 (活動してどのような課題があったか)	
	・準用河川管理委託 ・鶴枝遊水公園草刈 準用河川鹿島川他の草刈 鶴枝遊水公園		・準用河川の草刈りについて、現在、年に1回程度業者委託しているが、市民からは年に2回以上の草刈が求められている。	

今後の方向性	改善・改革の手法 (どのような手法で課題を解決するか) ※プルダウンで選択		課題を解決する具体的な取組 (具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	⑤更なる事業の推進		・市民要望に応えるべく年に2回程度草刈りが出来るように予算の確保に努める。	

企画政策課評価結果	
B 一部改善…事業の方向性は変えずに、事務のやり方等の改善を検討。	

企画政策課意見	
河川管理等に資する事業であり、今後も必要性は認められる。草刈等の委託に関して、他部署と委託契約をまとめる等、より経費を削減する方法について検討していただきたい。	

令和3年度 経常事務事業戦略シート

担当課・係等		農業委員会事務局
事務事業名		農業委員会事務運営費
事務事業の概要	事業事業の目標・目的 (誰・何をどのような状態にするのか)	
	主な活動内容 (目標を達成するために何を行うか)	
	・農地法に関わる農地転用及び農地の権利移動の許可申請に関し、毎月1回総会を開催している。また農地に関する全般的な相談業務等を実施している。 ・遊休農地の解消、担い手への農地の集積、集約化を目的とし、農地利用の最適化に関わる農地の利用権設定業務や、農地利用状況調査及び意向調査業務、また農業者年金業務等を実施している。	・毎月1回、茂原市農業委員会小委員会及び総会を開催し、農地法3条、4条、5条及び農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定による農用地利用集積計画について審議している。 ・毎年6月から8月に農業委員及び農地利用最適化推進委員により市内全域の農地の利用状況調査を実施し、その結果を基に農地所有者等に対し今後の農地の利用意向調査を実施している。

投入される行政コスト	カネ (単位:千円)				ヒト	
	予算額	決算額	次年度 予算額	財源内訳		職員数 (単位:人)
				補助金等	一般財源	
	18,741	17,666	18,474	59	18,415	6.00
						人件費 (単位:千円)
						40,654

課題抽出	活動内容と成果 (具体的に何をしたか、どのような実績があったか)			分析・評価 (活動してどのような課題があったか)	
	・総会議案件数 農地法 3条: 152件 4条: 4件 5条: 175件 農用地利用集積計画 所有権移転: 2件 利用権設定: 11件 ・農地の利用状況調査: 6月～8月の期間で、農業委員及び農地利用最適化推進委員にて全農地の調査を実施。 農地面積(調査面積): 3,525.2ha			・総会開催前に小委員会により提出案件の現地調査を実施し事前に協議することで、総会にてスムーズな議事進行が図られた。 ・利用状況調査の現地確認方法、遊休農地の判定について継続的な協議及び講習等の必要性がある。	

今後の方向性	改善・改革の手法 (どのような手法で課題を解決するか) ※プルダウンで選択		課題を解決する具体的な取組 (具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	⑤更なる事業の推進		・農地の所有者に対し、遊休農地の解消に向けた農地の適正な管理の実施について、担い手へのマッチングや農業委員会だより等を活用した積極的な周知に努める。 ・農業委員、農地利用最適化推進委員に対する研修会を実施する。	

企画政策課評価結果	
A 継続…より効率的・効果的な事業の実施を目指しながら、事業を継続。	

企画政策課意見	
農地転用等に関する業務については引き続き的確に実施いただきたい。また、農業委員等の視察研修においては、他自治体の状況も見ながら精査をいただきたい。	

令和3年度 経常事務事業戦略シート

担当課・係等		経済環境部農政課
事務事業名		農業集落排水事業特別会計繰出金
事務事業の概要	事業事業の目標・目的 (誰・何をどのような状態にするのか)	主な活動内容 (目標を達成するために何を行うか)
	農業集落排水事業の経営の健全化を促進し、その経営基盤を強化することを目的とする。	能率的な経営を行なってもなおその経営に伴う収入のみをもって充てることが客観的に困難であると認められる経費に対し、繰出基準に基づき、一般会計から農業集落排水事業特別会計への繰出を行っている。

投入される行政コスト	カネ (単位:千円)				ヒト	
	予算額	決算額	次年度 予算額	財源内訳		職員数 (単位:人)
				補助金等	一般財源	
	168,323	168,323	176,723		176,723	0.01
						人件費 (単位:千円) 76

課題抽出	活動内容と成果 (具体的に何をしたか、どのような実績があったか)	分析・評価 (活動してどのような課題があったか)
	・一般会計から農業集落排水事業特別会計への繰出 R3.8.31:84,000,000円 R4.2.1:84,323,000円	・公営企業会計移行後を見据え、支払資金の不足を防ぐため、また、繰出基準を超えないよう、適切な繰出の時期及び金額を精査していく必要がある。

今後の方向性	改善・改革の手法 (どのような手法で課題を解決するか) ※プルダウンで選択	課題を解決する具体的な取組 (具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)
	⑥その他	・十分な見通しをもった、慎重な予算執行に努める。

企画政策課評価結果
B 一部改善…事業の方向性は変えずに、事務のやり方等の改善を検討。

企画政策課意見
引き続き、適切な事務処理に努めるとともに、負担金等の精査・見直しを図り、更なる経営の健全化に努めていただきたい。

令和3年度 経常事務事業戦略シート

担当課・係等		本納公民館・管理事業係
事務事業名		本納公民館施設維持管理費
事務事業の概要	事業事業の目標・目的 (誰・何をどのような状態にするのか)	
	主な活動内容 (目標を達成するために何を行うか)	
	本納公民館の維持管理を目的とする。利用者に安全に利用してもらうため、施設の適切な維持管理に努める。	
	施設の維持管理や修繕に努める。施設の安全対策の促進。 土日祝・夜間の管理委託、清掃業務、消防点検などの各種委託契約の締結・執行を行う。	

投入される行政コスト	カネ (単位:千円)					ヒト	
	予算額	決算額	次年度 予算額	財源内訳		職員数 (単位:人)	人件費 (単位:千円)
				補助金等	一般財源		
	11,905	9,299	10,092	1,992	8,100	2.80	13,618

課題抽出	活動内容と成果 (具体的に何をしたか、どのような実績があったか)				分析・評価 (活動してどのような課題があったか)	
	10節 需用費 消耗品費、燃料費、光熱水費、修繕料 2,323,081円 11節 役務費 電話料、手数料、ピアノ調律料 134,339円 12節 委託料 各種管理委託料 6,645,085円 13節 使用料及び賃借料 テレビ受信料 14,031円 14節 工事請負費 旧新治分館照明器具安定器撤去工事 181,500円				本納公民館の維持管理に必要最低限の予算要求をしている。	

今後の方向性	改善・改革の手法 (どのような手法で課題を解決するか) ※プルダウンで選択		課題を解決する具体的な取組 (具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	⑥その他		必要最低限の予算要求をしているため、今後も必要なものを精査して予算要求をしていく。	

企画政策課評価結果	
A 継続…より効率的・効果的な事業の実施を目指しながら、事業を継続。	

企画政策課意見	
引き続き、事業費の精査を図るとともに、適切な事業実施に努めていただきたい。	